

## 平成24年度第41回福島県教職員研究論文表彰式 及び応募者賞状授与式

県北教育事務所

去る12月6日に、平成24年度福島県教職員研究論文に入賞した県北域内の受賞者に賞状を授与しました。

今年度、県北域内では5点の応募があり、1点が【特選】、もう1点が【奨励賞】を受賞いたしました。

受賞された個人、団体及び研究主題等は次のとおりです。

### 【特選】

個人研究 川俣町立川俣中学校 教諭 菅野美由里  
研究主題 理解領域から表現領域へつなげる授業の工夫  
～「理解するために書く」から  
「伝えるために書く」～  
研究の概要 生徒の実態を多面的に的確にとらえ、国語の力を確実に身に付けさせるために3つのステップと9つの実践を組み合わせ、緻密な授業計画を立て検証しています。



### 菅野美由里先生からの一言

今回のこの県教職員研究論文で特選をいただくことができ、大変嬉しく思っています。論文をまとめる中で、新たな課題も見えてきました。今後も常に生徒に寄り添い、謙虚な気持ちで研究を続けていきたいと思えます。

### 【奨励賞】

団体研究 伊達市立掛田小学校  
(代表) 校長 佐藤 吉則  
研究主題 読解力を身に付けさせる国語科指導  
～ 思考が見えるノートづくりを通して ～  
研究の概要 今日的課題となっている「思考力・判断力・表現力」を一体的にとらえ、考えて書くことの役割をノートづくりに反映させ、「内容を正確に読み取ることができる児童の育成」に全校挙げて取り組んでいます。



県北教育事務所では「教職員の自主的な研究を推奨する」という趣旨から、応募者に賞状を授与しています。今年度の応募者を紹介いたします。

### 【応募者】(学校番号順)

個人研究 福島市立庭坂小学校 教諭 菅野 裕  
研究主題 自ら運動に取り組む子どもの育成  
～ 学び合いながら、技能を習得する活動を通して ～  
個人研究 伊達市立保原小学校 教諭 木村 圭吾  
研究主題 「文学的文章を想像豊かに読むことを通して考えを深めることのできる児童の育成」  
個人研究 本宮市立岩根小学校 校長 岡部 智  
研究主題 教職員の経営参画意識の高揚を目指し、『校長室だより』を通じた経営的效果  
～ 前任校で培ってきた校長力(PM理論を生かした働きかけ)を基にした「校長室だより」の経営的效果を比較検討 ～

いずれの研究も各学校で抱えている教育課題の解決に向けて、それぞれの立場で真摯に取り組まれた実践をまとめたものであり、授業力アップを目指している先生方の参考になる研究の視点や具体的な手立てが数多くありました。

次年度も多数の応募をお願いいたします。